

総務産業建設常任委員会活動報告

6月定例会

6月定例会では、所管各課における事業の進捗状況の調査を行った。

総務部門

6月8日(火)開催

経営戦略課

公共施設最適配置推進室

緑越事業である庁舎等工事設計業務の各種申請状況について質疑があった。現在は建築確認申請の事務を進めている状況と答弁があった。

長期休暇の職員の状況や関わり方、時間外勤務の状況等の働き方改革について質疑があった。所属長面談や経営戦略課のフォローで対応していると答弁があった。

選挙にかかる投票率低下について質疑があり、期日前投



総務産業建設常任委員会

票を充実させると答弁があった。

みらい創生課

空き家等改修補助金等の周知方法については、固定資産

税納税通知書送付時、町広報ホームページにて周知を図ったと答弁があった。

自治会活動活性化推進事業補助金の具体的な補助内容について質疑があった。コロナ禍でも自治会集会所等に集いやすい環境整備のためのトイレ改修、空気清浄機等の購入補助がある。また、ポストコロナとして、自治会会議や活動をオンラインで実施するためのWiFi環境等整備補助メニューがあると答弁があった。

自治会ミーティングの内容について質疑があった。昨年度は、コロナ禍で自治会と町が顔を合わせる機会がなく、可能な限り全ての自治会に訪問し、課題等を懇談させていただきたいとの答弁があった。近江上布のさらなるアピールとして、麻製品を町職員全員で着用すること等の意見があった。

くらし安全環境課

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自治会イベントに対する質疑があり、これまで同様8月以降も、町イベント実施の基準と照らし合わせて実施していただく考えである。

その他、総務部門では、税務課、人権政策課、地域総合センターについて、それぞれ進捗状況等が報告された。

産業建設部門

6月9日(水)開催

商工観光課

ふるさと納税商品開発を町内企業と一体的に実施していくことについて、町内企業向けのワークショップを実施し、機運をあげて取り組んでいくと答弁があった。

キャッシュレス決済ペイイを、導入している地元企業が少ない状況での経済対策について質疑があり、ペイイ社が町内企業を訪問し導入店舗を増やし経済対策につながると答弁があった。

SNS広告を活用しキャッシュレス決済ポイント還元事業をより拡大していくよう要望があった。

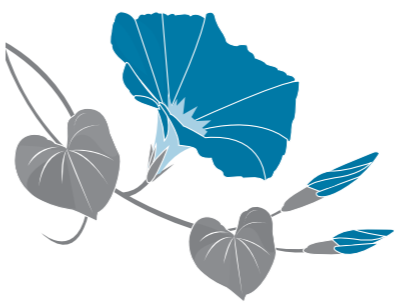
農林振興課

町としての魅力ある農業の大きな方向性の確認や、遊休農地を貸農園とし、町民が農地に愛着をもってもらおうべき等の意見があった。

建設・下水道課

ランドデザイン推進室

都市計画マスタープラン、ランドデザイン、立地適正化計画の策定時期、内容および関係性について質疑があった。令和3年度末に完了させる予定で、内容および関係性や内容については、検討委員会終了後に示していくと答弁があった。



教育民生常任委員会活動報告

6月定例会

6月定例会では、所管各課における事業の進捗状況の調査を行った。

民生部門

6月10日(木)開催

新型コロナウイルスワクチン接種推進室

65歳以上の未接種の方への接種推進方法、64歳以下の接種方法、基礎疾患をお持ちの方の接種方法を質疑した。接種全体的には、国の指針等を軸にワクチン供給量や地域接種の状況等を踏まえて進めていくことになり、65歳以上の未接種の方については、再通知ならびに声掛けを依頼されている方に声掛けを依頼し、7月末までに接種完了の予定である。64歳以下の接種については、基礎疾患をお持ちの方を優先し、自己申告において接種券を送付する予定

であり、個別接種、集団接種を併用して実施していく予定であるとの答弁があった。

福祉課

(地域包括支援センター)

コロナ禍における「いきいきサロン」の実施状況を質疑した。65歳以上のワクチン接種が完了することを前提に、9月からの再開予定である。補助対象要件となる実施回数も可能な限り柔軟に対応していくと答弁があった。

介護予防等の観点から高齢者の就労支援が必要であり、町の業務を可能な限りシルバー人材センターに委託することはできないかと意見があった。

健康推進課

コロナ禍による子どもの貧困が問題であり、本町における支援や応援が必要であると意見があった。



教育民生常任委員会

教育部門

6月11日(金)開催

教育振興課

(幼稚園、小学校、中学校)

GIGAスクール事業が開始されたが児童生徒や教師の反応、スクールサポート体制等について質疑があった。児童生徒、教師ともに反応は良好であり、活用できる教材は活用している。全国的な課題としてシステム回線が混み合うことがある。来年度以降のスクールサポートの運営は状況を勘案し判断していくと答弁があった。



GIGAスクール事業は楽しみ半分のみで、授業内容を理解しないまま、重要な読解力向上につながらないケース

も考えられる。特に小学生においては課題になると認識したうえで、教師同志の共有について意見があった。



いじめ問題は聴く環境、聴ける環境を整備する必要がある、いじめ認知度も含めてデリケートに取り組んでいかなければならないと意見があった。

給食センター

給食に地場産物を活用することについて、他課と連携し活発にすべきと意見があった。

図書館

まちじゅう読書宣言が希薄化しているため、今後は積極的に取り組み、図書町の啓発を考えるよう意見があった。